

2025年 高校生地球市民会議 (実施計画)

2025年3月28日 更新
NPO 法人 スプラタルカ

趣 旨

本会議を通して、参加国の高校生が自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解や同世代の連帯を図る。さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

地球市民会議 詳細

会議の運営

主催：NPO 法人 スプラタルカ
後援：沖縄県教育委員会

開催期日

2025年5月5日（月） 「こどもの日」

日本時間	14:30 – 16:30
マレーシア	13:30 – 15:30
インドネシア	12:30 – 14:30

会議参加者（3カ国） * 各国の希望者10名～40名程度 * 高校生相当

- ① 日本（沖縄）： 沖縄在住の高校生
- ② 日本（全国）： オンラインで自宅から参加（高校生） *10名程度
- ③ マレーシア（ペナン）： Tun Syed Sheh Barakbah 中等学校 生徒
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100092689813931>
- ④ インドネシア（ジョグジャカルタ）： SMAN 3 Yogyakarta（高校）生徒
<https://sma3jogja.sch.id/>

会議内容 テーマ：

「社会的課題を解決するために活動している組織を紹介しよう！」

"Let's introduce organizations that are trying to solve global and social problems in your country!"

自分の国で、社会的課題を解決するために活動しているすばらしい組織を、他の国の人にも知ってもらいたいという思いで、紹介しあいます。

会 場

- 日本（沖縄）： 読谷村文化センター
- 日本（全国）： 各家庭
- マレーシア： 学校内会場
- インドネシア： 学校内会場

参加費 無料

会議形式

- ビデオ通話を使った同時中継（大型スクリーンに映す）。
- 日本側（沖縄以外）は、各家庭からオンラインで参加する。
- 会場を解放し、保護者や見学者は会議を自由に見学できる。（日本側）

地球市民会議のプログラム構成

* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:30-14:32 (2分)	Ice Break! <参加者全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。 *全員で復唱する。
学校紹介	14:33-14:45 (9分) 各3分×3	学校の紹介 (日本、マレーシア、インドネシアの順) <各国担当者>	各学校の紹介を行う。 ● 発表担当者（分担可能）が、発表する。 ● 他の国の生徒は、質問できる。 ● 日本側は、一般的な日本の学校の紹介を行う。（学校単位ではないから）
文化紹介	14:45-15:05 (15分) 各5分×3	文化の紹介 (日本、マレーシア、インドネシアの順) <各国担当者>	各国の文化を紹介する。 ● 担当者が披露する。 ● 他の国の生徒は、質問する。
社会的課題を解決するために活動している組織の紹介	15:05-15:50 (45分) 各15分×3	「社会的課題を解決するために活動している組織を紹介しよう！」 というテーマについての意見交換 <u>各国が、テーマに沿った自国の組織を詳しく</u>	「社会的課題を解決するために活動している組織を紹介しよう！」というテーマのもと、自分の国で、ぜひ紹介したい組織を詳しく紹介する ● その組織は、地域の社会的課題を解決する組織でもよいし、地球的課題を解決する組織でもよい。 ● その組織は、自国に本部があること。

		紹介する。(日本、マレーシア、インドネシアの順) <各国担当者>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前にこのテーマについて、ワークシートに各自の意見をまとめておく。(事前準備) ● 事前研修で、紹介する組織を2つに絞り込んで、詳しく調べる。 ● 写真や図、絵などの資料を見せながら分かりやすく説明する。 ● 事例は基本的に英語で発表する。詳細は日本語で発表してよい(スタッフが通訳する。) ● 画面共有方式を使用する。 ● 他の国の生徒は、その内容について<u>質問や意見</u>を行う。 ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
	15:50-15:55 (5分)	休憩	5分間の休憩
自由質問	15:55-16:25 (30分)	自由な質問 (自由に質問をしあう) <参加者全員>	<p>お互いが興味あることについて、自由に質問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>国を指定せず</u>、自由に質問を取る。 ● <u>質問内容は、特に制限しない。</u>(アニメ、アイドル、学校生活、休日の過ごし方、など) ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
あいさつの 終わりの あいさつ	16:28-16:30 (2分)	地球市民会議終了のあいさつ <各国のリーダー> *ビデオ通話を終了	<p>各国のリーダーが、会議終了のあいさつを行う。</p> <p>*ビデオ通話を切断する。</p>
	16:30-16:35 (5分)	休憩	5分間の休憩
全体のまとめ	16:35-16:55 (20分)	本会議のまとめ(国ごと別々に行う) 感想の発表とワークシート記入 <参加者全員>	<p>今日の会議について感想を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>ワークシートに自分の感想をまとめる。</u> ● 今回の会議について、<u>参加者全員から</u>意見や感想を取る。 ● スタッフや見学者からも意見や感想を取る。

お わ り	16:59-17:00 (1分)	国際会議終了あいさつ <全体司会者> *会議全体を終了	会議の終了を伝える。 *地球市民会議全日程終了
-------------	---------------------	--	---------------------------------------

事前準備

1. **各自**、テーマ：「**社会的課題を解決するために活動している組織を紹介しよう！**」について考え、事前にワークシートに答えておく。
 - 日本国内もしくは日本人が中心の組織で、社会的課題の解決や地球規模の課題の解決のために活動している組織を調べる。
 - 他国の生徒にもぜひ知ってもらいたいような組織を調べる。
 - 組織の活動の分野は特に問わない。
 - 紹介したい組織は、いくつあってもよい。
2. 事前研修で、各自が調査した組織から、「日本側としてぜひ紹介したい組織」として2つに絞り込む。
 - 各自が調査したお勧めの組織を発表する。(全員)
 - それらの組織について全員で話し合い、テーマに適したものを、ふたつ選ぶ。
 - その組織について、全員で詳しく調べ直す。
 - その組織について発表するために資料を作成する。
 - その活動内容を分かりやすく説明するため、図や写真、ビデオ、手書きの絵なども利用する。
 - データは、グーグルスライドもしくはパワーポイントで保存する。
 - 画面共有方式で発表する。
 - 通訳を考え、資料は出来るだけ簡潔にまとめる。
 - 通訳等も考え、5分程度の資料にまとめる。
 - 沖縄以外からの参加者は、オンラインで事前研修に参加する。
3. 日本の学校の紹介資料を作成する。
 - 日本の学校を紹介する。参加者の学校が違うので、どのように紹介するかを話し合う。(発表者の学校の紹介、一般的日本の高等学校の紹介、など)
 - 写真や図を使って資料を作成する。
 - 2分弱の発表にまとめる。パネル5枚以内。(A3もしくはA4)
 - 完成した資料は、先に他の参加国とファイルを共有する。(会議の時間を節約するため)
4. **文化紹介**の準備しておく。
 - 文化紹介として、発表(実演)できる内容と担当者を決める。
 - 担当者は、必要な準備を行う。
5. それぞれの**発表役**を決める。
 - 学校紹介：複数名も可能。
 - 文化紹介：複数名も可能。
 - テーマについての発表：複数名も可能。

6. 通訳は、コミュニケーションの流れを理解しておく。

- 全員が同じスクリーンに登場し、音声も全員に聞こえるので、通訳は各国順番に行っていく必要がある。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

意思疎通の流れ

1. 意思疎通の流れは以下の通り。

「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→

→「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」

→「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」

「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→

→「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」

→「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」

補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

地球市民会議開催までの日程

募集期間： ～4月 25 日（金）

*参加予定者は、研修前にワークシートに記入しておく。

*ボランティアスタッフの募集も含む。

応募方法：オンラインフォーム形式

*この QR コードから申し込み下さい。



*申し込み用紙もしくはメールでの申し込みも可能です。

詳しくは <https://www.supratarka.org/int-conference> から資料をダウンロードしてください。

事前研修：

1. 第 1 回 4 月 27 日（日）13:00 – 16:30 読谷村文化センター内

*沖縄以外からの参加者は、オンラインで自宅から参加する。

- 参加者自己紹介
- 各自の意見発表

- 意見のまとめ。紹介する組織の選択と詳しい調査。
 - 役割分担（資料作成、発表）
 - 発表資料作成（学校紹介、組織の紹介）
 - 相手校や地域の紹介
2. 第2回 5月5日（月）12:00 – 14:00 読谷村文化センター内
- * 沖縄以外からの参加者は、オンラインで自宅から参加する。
- 発表資料完成
 - 発表練習
- * 事前研修前に食事を済ませておく。
- * 事前研修後、休憩を取って、そのまま本会議となる。

本会議：5月5日（月）14:30 – 16:30 読谷村文化センター内

* 沖縄以外からの参加者は、オンラインで自宅から参加する。

* 相手校は授業の一環なので、服装は制服とします。（自宅からの参加者も）

寄付についてのご案内

NPO 法人スプラタルカは、会員の皆様の会費及び支援者の皆様の寄付を中心として運営しております。

プログラムに参加されたうえで、その価値や意義をご理解いただけた場合は、次回の参加者に向けたご支援のほどよろしくお願い致します。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

https://www.instagram.com/supratarka_official/

